

学校に行きづらい中学生のための



個別サポートON-LINE学習

ここサポON-LINE

子育てカウンセリング・リソースサポート

学校に行きづらい子どもたちは、一人ひとりが自分なりに頑張っていて、それぞれのペースで着実に成長しています。しかし、社会の中でそれを上手くサポートする仕組みがありません。

ここ数年で、ON-LINEの学習が大きく広がり、文部科学省もON-LINE学習をより一層取り入れていく必要があると言っています。そこで子育てカウンセリング・リソースサポートでは、ON-LINE学習で定評のある「すらら」を活用して、学校に行きづらい子どもたちの学習支援と心のサポートとして、「ここサポ ON-LINE」を始めることに致しました。

学校に行きづらい中学生をサポート

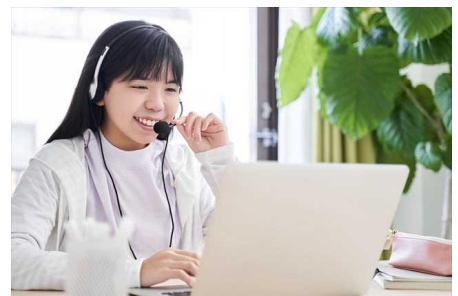
学校に行きたくても、不安や緊張があってもなかなか登校できない子どもたちは、1人1人にあった適切なサポートを必要としています。不安や緊張が生じにくい場面で、人と関わったり学習をすることができれば、自信につながり、自然と活動も広がってきます。そして、中学卒業後の進路にもつながってきます。

そこで、【ここサポ ON-LINE】では、不安や緊張があっても学校に行きづらい子どもたちのサポートに力を注ぎます。インターネットを活用してON-LINEで心と学習のサポートします。



カウンセラーが運営しています

【ここサポ ON-LINE】は、子育てカウンセリング・リソースサポートの代表カウンセラーが運営しています。スクールカウンセラーや子育てカウンセリングを通して、学校に行きづらい子どもたちのカウンセリングやサポートを行ってきました。学校の欠席が多い状況は、学習のサポートが必要なだけでなく、心のサポートも必要になります。学校へ行きづらい子どもたちは不安や傷付きを抱えています。だからこそ、心理的なサポートの中に学習のサポートを位置づけ、両方が良いサイクルになるように工夫することが大切なのです。これは、カウンセリングの視点だからこそできることなのです。



ON-LINE で心のサポートをします

週1～2回のON-LINEサポート（45分）で、サポーター（講師）がお子様の心をサポートします。お子様の好きなことや楽しかったことを中心にして対話します。その中で、カウンセリングの各種アプローチを活用して心のサポートにつなげます。もちろん学習で分からないことを相談することも可能です。

サポーターは心理学を学んでカウンセラーになることを目指している大学生院生などです。子どものサポートについて代表カウンセラーが研修を行い一定の水準に達した人がサポーターとなります。そのため、お子様に質の高いサポートを提供できます。

所属中学校での出席扱いを目指します

文部科学省は、家庭に引きこもりがちで十分な支援を受けられない不登校の児童生徒に対し、IT等を活用した自宅学習で出席扱いにするという方針を定めました。出席扱いとなるためには、7つの要件を満たす必要があります。ご家庭と学校との話し合いを元に校長先生の判断で決まります。【ここサポート ON-LINE】ではその要件を満たし、学校が出席扱いと判断できるようご家庭と協力して参ります。

オンライン学習の「すらら」を活用

「すらら」は、自宅で学習できるインターネット学習教材です。パソコンやタブレットからアクセスして、手軽に学習を始められます。また、学習の中にゲームの要素を取り入れているため楽しく勉強に取り組むことが可能です。無学年方式を採用しているため、学校の進度にこだわらず、お子様一人ひとりに適した学習課題を学習することができます。

キャラクターが登場して対話しながら教えてくれるため学習内容の理解が進みます。そして、お子様一人ひとりの理解度に合わせた課題が出て、解けなかった理由についても教えてくれます。2012年度 e-ラーニング大賞文部科学大臣賞を受賞した、e-ラーニングとして歴史と定評のある学習教材なのです。

人から教えてもらうことが学習の理解には効果的なのですが、学校に行きづらいお子様にとっては、そこに抵抗があることも多いと思います。キャラクターが解説してくれることやゲームの要素を取り入れているため、学校に行きづらいお子様に非常にあう学習教材なのです。



お気軽にお問い合わせください



子育てカウンセリング・リソースポート

メール：resourceport2018@gmail.com

ホームページ：<https://www.resource-port.net/>



お問い合わせフォーム

限定5名で募集を開始します

事業開始にあたり、子どもたちへの質の高いサポートを提供するため、限定5名で開始いたします。信頼できるサポーターを順次採用していき、【ここサポ ON-LINE】に参加してもらえる子どもたちを増やしていきたいと考えています。



料金制度

☆登録料 ~~8,000円~~ → 無料

☆シンプル会員

月会費 ~~24,000円~~ → 21,000円 (3月20日お申し込みまで)

「すらら」を使った ON-LINE 学習

週1回 (45分) の ON-LINE サポート

☆ベーシック会員

月会費 ~~28,000円~~ → 25,000円 (3月20日お申し込みまで)

「すらら」を使った ON-LINE 学習

週2回 (45分) の ON-LINE サポート

リソースサポートのカウンセリングを会員価格で利用可

☆アドバンス会員

月会費 ~~35,000円~~ → 28,000円 (3月20日お申し込みまで)

「すらら」を使った ON-LINE 学習

週2回 (45分) の ON-LINE サポート

代表カウンセラーによる保護者 ON-LINE カウンセリング 1回 (45分)

代表カウンセラーによる子ども ON-LINE カウンセリング 1回 (45分)

リソースサポートのカウンセリングを会員価格で利用可



- ・事業開始にあたり、2020年3月20日までお申し込みの限定5名で募集しております。
- ・2月1日開始に限り、1月28日までのお申し込み締め切りといたします。
- ・2021年2月1日から4月30日までの3ヶ月間、毎月この料金でご利用いただけます。
- ・2021年5月(4月20日までのお支払い)からは、通常料金となりますが、登録料金はいただきません。

・5月以降の継続は義務ではありません。

・毎月20日までに、次の月の会費をお支払いください。

例) 2月20日までにお支払いいただくと、3月1日～31日までご利用いただけます。

・20日までにお支払いがない場合は、自動的に次月は休会となります。

・退会の手続きは別途定めますが、4ヶ月連続の休会で自動的に退会となります。

ON-LINE サポートについて

ON-LINE サポートはインターネット会議システムを活用して行います。1回1回は、最長で45分で1枠とします。

学習についての相談もできますが、お子様の好きなことについておしゃべりする中で、カウンセリングのアプローチを活用したサポートを提供していきます。

この ON-LINE サポートは、【ここサポ ON-LINE】の最もお勧めしたいポイントです。子育てカウンセリング・リソースポートだからこそできるサポートだと考えております。詳しくは、別紙をご参照ください。



出席扱いについて

出席扱いとなるかどうかは、各学校の校長先生の判断となりますが、文部科学省の定めた以下のような7項目の要件に則っていることが求められます。

【ここサポ ON-LINE】では、ご家庭と学校との連携をサポートして、出席扱いが認められるように丁寧にサポートして参ります。詳しくは別紙をご参照ください。

その他

【ここサポ ON-LINE】の由来

子どもの「こ」、個別の「こ」、心の「こ」、子どもたちの居場所としての「ここ」でのサポートという意味を託して名付けました。

ON-LINE サポートの振り替え

シンプル会員：月1回、レギュラー会員・アドバンス会員：月2回

退会

毎月20日までのお支払いがない場合には、月末に自動退会となります。なお、登録料無料でご入会いただいた方の再入会の場合には、登録料が必要となる場合があります。

お気軽にお問い合わせください



子育てカウンセリング・リソースポート

メール：resourceport2018@gmail.com

ホームページ：<https://www.resource-port.net/>



お問い合わせフォーム

ON-LINEサポートについて

ON-LINE サポートはインターネット会議システムを活用しますが、1回1回は、最長で45分で1枠とします。ご利用の初期には、お子様がサポーター(講師)との会話に不安や緊張を感じる場合もあると思います。その場合は、心理的な負担をかけないように挨拶と簡単なやり取りだけの数分で1回を終了することもあります。少しずつ関係を深めていって、しっかりとサポートできるように丁寧に関わって参ります。

ON-LINE サポートでは、学習についての相談もできますが、お子様の好きなことについておしゃべりすることを大切にします。その中で、カウンセリングのアプローチを活用したサポートを提供していきます。それを通して、お子様の心の安定や成長を促していきます。

活用するアプローチ

・SFA (Solutin Focused Approach : 解決志向アプローチ)

悩みや問題ではなく、より良い自分の状態(解決)に焦点を当てたアプローチです。良い面を大切に、小さな変化が大きな変化につながるようにサポートしていきます。

・MI (Motivation Interview : 動機づけ面接)

より良く変わろうとする気持ちに焦点を当て、それをサポートするアプローチ。指示やお説教ではなく、子ども自身の気持ちに沿って行動の変化をサポートします。

・CBT (Cognitive Behavioral Therapy : 認知行動療法)

不安や不快などのマイナスの感情に対して、捉え方や考え方から変化を促します。マイナスの感情に上手に対処して、気持ちの安定を促します。

こういったアプローチを活用したサポートは、リソースポートの代表カウンセラーが長年のスクールカウンセラー活動の中で培ってきた方法で、著書の中で紹介しています。【ここサポ ON-LINE】だからこそできる子どもたちへのサポートだと考えております。

サポーター(講師)の研修に力を入れます

また、子どもたちとON-LINEで関わるサポーター(講師)は、大学で心理学を学びカウンセラーを目指している大学院生などを採用します。その上で、こういったノウハウを具体的に伝えるための研修を行います。また、サポーターの活動を向上させていくためにも、継続的にスキルアップ研修を行って参ります。



お気軽にお問い合わせください

子育てカウンセリング・リソースポート

メール：resourceport2018@gmail.com

ホームページ：<https://www.resource-port.net/>

学校での出席扱いについて

不登校であっても、条件を満たせば IT 等を活用したオンライン学習を家庭で行うことによって出席扱いになるという制度があります。令和元年度では、全国で 397 人の中学生がこの制度を利用しています。しかし、不登校の公立中学校生徒は全国で 12 万以上ですので、全体の約 3 %程度です。實際上、IT 等を活用して出席扱いとなった子どもたちは非常に少ないと言えます。IT を活用したオンライン学習であれば何でも良いわけではなく、いくつかの条件を満たさなければなりません。

出席扱いと認められるために必要な 7 つの条件

- ① 保護者と学校との間に十分な連携・協力関係があること
- ② ICT や郵送、FAX などを利用して提供される学習活動であること。
- ③ 担任の先生の家庭訪問などによる対面の指導が定期的・継続的に行われること。
- ④ その子どもの学習への理解の程度を踏まえた計画的なプログラムであること。
- ⑤ 校長先生が対面指導や学習活動の状況を十分に把握していること。
- ⑥ 学校外の公的機関や民間施設等で相談・指導を受けられない場合に行う学習活動であること。
- ⑦ 学習活動の評価は、計画や内容を学校の教育課程に照らし判断すること。

学校との連携・協力が大切です

文部科学省が挙げている 7 つの条件を見ていくと、①に書かれている家庭と学校の連携・協力を重視していることが分かります。③や⑤も、家庭と学校の連携・協力が基本となります。まずは、学校との連絡や情報共有を大切に良い協力関係を保っておくことが大切なのです。

また、②や④は、【ここサポ ON-LINE】をご利用いただければ問題ありません。⑦は、評価（通知表や内申書）の問題なので、出席扱いとなった後に検討する内容です。

残る⑥「学校外の公的機関や民間施設等で相談・指導を受けられない場合に行う学習活動であること。」が重要なポイントです。お子様が学校外の公的機関や民間施設等で相談・指導を受けることが難しい場合に出席扱いとなるのです。この点については、お子様一人ひとりによって実情が異なってくるため、お子様の状況を学校に深く理解してもらうことが必要になると考えられます。【ここサポ ON-LINE】では、運営母体の子育てカウンセリング・リソースポートの代表カウンセラーの専門性を活かして、学校に深く理解してもらえるように家庭と学校の連携をサポートいたします。



お気軽にお問い合わせください

子育てカウンセリング・リソースポート

メール：resourceport2018@gmail.com

ホームページ：<https://www.resource-port.net/>

学校の欠席が多くなっている中学生のあなたへ

はじめまして。茨城県でカウンセラーをしている半田一郎です。ある日突然、このプリントを見せられて、戸惑ったり、嫌な気持ちになっているかもしれません。それでも、このメッセージを読んでくださっていること自体がきっと価値のあることだと想像しています。

実は、もしよければ、あなたに【ここサポ ON-LINE】を紹介したいと思っています。学校の欠席が多い中学生全員のプラスになるわけではないと思うのですが、それでも何人かの人にはプラスになると考えています。

心と体にプラスの何かが生じること

あなたは、「学校へ行かなくてはいけない」と思っているかもしれません。「学校なんかどうでもいい」とか「学校へ行きたくない」と思っているかもしれません。それは大切なことなのですが、いまここでは、「学校へ行くか行かないか」ではなく、少し違うことを考えてみてください。

自分にとって意味があると感じられること、自分が楽しいと感じること、心がホッと安心できること、自分の心にプラスの何かが生じることが想像してみてください。想像するだけで心が少し元気になると思います。時々、思い出して少しだけ想像してみてください。

お勧めしたい2つのこと

でも、やっぱり「学校へ行くか行かないか」を考えているかもしれません。あなたにとって学校はそれだけ重要なことなのだと想像しています。そういう時こそ少し違ったところから考えてみることも良いことかもしれません。

1つのお勧めは、家族以外の信頼できる人とおしゃべりをするということです。信頼できる人と話すだけで、自分自身の考えが広がって、心が自由になっていきます。

もう1つのお勧めは、1人で勉強しないことです。ほとんどの人は学校や塾で勉強を教えてもらって分かるようになります。1人で勉強すると、分かるようにならなくて、自分はダメだと思ってしまいがちです。これは当たり前です。教えてもらうから分かるようになるのです。だから、1人で勉強しないで、誰かに教えてもらうことが大切なのです。

お勧めの2つのことは、もう自然にやっているかもしれません。もし、そうでない場合は、【ここサポ ON-LINE】も1つの方法かもしれません。【ここサポ ON-LINE】は、オンラインでつながって、「人とおしゃべりするチャンス」と「教えてもらって勉強するチャンス」を提供しています。興味があったら、このプリントを渡してくれた人に聞いてみてください。

最後まで読んでくれて本当にありがとうございます。小さな良いことが少しずつつながっていくよう祈っています。 【ここサポ ON-LINE】半田一郎（カウンセラー）